

公 民 [倫 理] (100 点 50 分)

2004 年 10 月 22 日 (金) 2 限実施

千葉県立千葉東高等学校 第 3 学年 1,2,3,4,6,7,8,9 組対象

Produced by K.Kataoka

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

学年、組、名前を記入する。

学年、組の該当個所をマークする。

出席番号をマークする。(10 番以上は 10 の位と 1 の位の 2 カ所)

男女の欄をマークする

1.2.3 枚目のところはマークしない。

停・欠・遅・早のところはマークしない。

機械の読みとりミス確認のため、解答欄はマークの左側に番号を記入しておく。

以上が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

試験最終日 10 月 26 日 (火) にセンター試験過去問演習用プリントを配付します。希望者は考査終了後、社会科教室に受け取りに来ること。

倫 理

(解答番号 [1] ~ [50])

第 1 問 次の文章を読み下の問い (問 1 ~ 問 1 2) に答えよ。(配点 26)

無常という考え方は、もともと仏教の考え方の基本の一つであった。それが日本人に受容されてより感覚的・具体的な独自の無常感となった。鎌倉末期から南北朝期にかけての随筆家 [1] の作品の中に、ものごとが移りゆかず人も死ぬことがなかったら、「いかにもものあはれもなからむ。世はさだめなきこそ、いみじけれ」とある。世の中は無常であるからこそ、「あはれ」(感動)も「いみじ」(興味)もあるというのである。

このように、日本人の思考に様々な影響を与えた仏教は 6 世紀に日本に伝えられて以来、以上のような無常感としてだけではなく、日本人の主要な宗教の一つとして日本人の心のささえとなってきた。仏教に対してはじめて深い理解を示したのは、(a)聖徳太子であった。太子は、仏教をあらゆる人々や国々がしたがうべき普遍的真理ととらえ、その興隆に努めた。奈良時代には、仏教は国家の保護を受けていっそう発展した。当時の僧侶は、鎮護国家のための法会や祈禱を行うとともに仏教の教理の研究を進め、南都六宗とよばれる諸学派が形成された。(b)さまざまな苦難をおかして渡来した唐僧、鑑真の活動も日本の仏教の大きな力となった。その頃の僧侶の活動は、国家の厳しい統制のため民間への布教はあまり活発ではなかったが、それでも [2] のように、政府の取締りを受けながらも農民のための用水施設や交通施設を作るなど、布教と社会事業につくした僧もあった。

平安時代になると、(c)最澄が天台宗を、(d)空海が真言宗をそれぞれ大陸から学び、新しい日本的な仏教としてひろめている。両宗とも密教の教義にもとづいて、加持祈禱によって現世利益をはかる仏教として皇室や貴族の間でもてはやされ、仏教界の主流となった。

鎌倉時代にはいと、仏教の教えはしだいに民衆の生活に浸透してきた。その出発点になったのは、(e)阿弥陀仏の慈悲によって極楽浄土に往生しようと願う浄土の信仰である。この教えこそ、末法の世に救いに至り得る唯一の道であるとして、仏の本願を信じて、ひたすらに念仏せよと説いたのが、(f)法然とその弟子の親鸞である。親鸞は、法然の教えを受けついで、弥陀の本願をひたすら信仰することを説く。悪にとらわれた「煩惱具足のわれら」は、われらを救ってくださる弥陀の本願を信ずるよりほかに往生する道はない。このような信仰を徹底したところに「[9]」という考え方が生まれる。

禅宗は、修行による自力の体験をもって仏の世界にはいりこもうとする教えである。すなわち、経文によらず、書かれた教えでなく、自己の体験と修行によって、(g)自らに備わった仏性を見ぬいてただちに仏の境地に合体しようとするのである。日本臨済宗の開祖、(h)栄西は密教の祈禱にもすぐれていて、公家や幕府首脳の帰依を受けた。幕府は臨済宗を重んじ、学僧の学芸から五山文化が栄えた。(i)道元は、末法思想を否定し、自分は凡愚であって修行に耐えられないとするような態度をいましめ、余事をかえりみず、坐禅そのも

のを重視する教えを説いた。

安房の一漁村に生まれ、はじめ天台宗を学んだ(j)日蓮は、やがて法華経を唯一至上の正法であるとして、「南無妙法蓮華経」の七字題目を唱えることを説いた。日蓮の教えは、当初は関東の武士・農民層にひろまったが、室町時代には西日本におよび、京都・堺などの町衆のあいだにひろまった。江戸時代にはさらに江戸の町人のあいだにひろまった。

問1 文中の空欄 [1]・[2]に入れるのに最も適当なものを、次の ~ のうちから一つずつ選べ。

- | | | | | |
|-------|-----|------|-----|------|
| [1] | 鴨長明 | 清少納言 | 世阿弥 | 吉田兼好 |
| [2] | 源信 | 行基 | 一遍 | 空也 |

問2 下線部(a)に関連して、聖徳太子が記したとされる「十七条憲法」の中には、煩惱の自覚に基づく条文がある。その条文の要旨として適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[3](2004年センター本試験より)

人間の本质は悪であって、善なるものは偽(人為)である。人間は生まれつき利益を好み、妬み憎んだりする傾向があり、それに従うと争い合い秩序がなくなる。聖人はそれを見て礼や法を制して人間の性質をただしたのである。

聖人や賢人のように知恵の明らかなでないものが愚癡である。聖人や賢人のようには才能の及ばない者が不肖である。愚癡不肖であっても良知良能がある。その良知良能を失わなければ、愚癡不肖も善人の徒なのである。

法による指導や刑罰による規制では、人々は法や刑罰に触れなければよいと思い、罪を恥じることがない。しかし、徳によって導き、礼によって規制すると、人々は悪を恥じるようになり、おのずから善にいたるものである。

心の中に怨みを抱かず怒りを棄てよ。人はそれぞれ自分が正しいと思い他人が間違っていると思い込む。しかし自分が必ずしも聖人なのではなく、他人が必ずしも愚者なのでもない。ともに欲望にとらわれているのである。

問3 下線部(b)に関連して、鑑真が日本に伝えた宗派として適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[4]

- | | | | |
|-----|----|-----|-----|
| 法相宗 | 律宗 | 華嚴宗 | 三論宗 |
|-----|----|-----|-----|

問4 下線部(c)に関連して、最澄の思想の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[5]

真の仏道修行のためには厳しい戒律が必要であり、具足戒二百五十戒を守る修行僧こそが国の宝である。

悟りにいたる乗り物が三種類あるというのは方便で、実は唯一つの真実の教えがあるのみで、それによっていかなる人間にもすべて平等に仏に成る可能性がある。

煩惱即菩提という大乘仏教の立場からすると、戒律というものは一切不要であり、肉食妻帯すら仏道修行の妨げにはなりえない。

悟りにいたる方法には、声聞乗、縁覚乗、菩薩乗の三つがあるが、一切の人間の悟りのために修行する菩薩乗を選ぶ者だけが仏となる可能性を持つ。

問5 下線部(d)に関連して、空海の思想の説明として適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[6]

真言とはもろもろの仏・菩薩・諸天に呼びかけ、神秘的な呪力を引き出す言葉である。

大日如来は宇宙の究極的な原理を示す仏であり、一切の如来・菩薩・神々を包摂する。

身・口・意の三密を行う者は、死後の世界で大日如来と一体化することができる。

世俗の道を説く儒教よりも超世俗を教える道教が優れているが、広大無辺の仏教の教えはさらに優れている。

問6 下線部(e)に関連して、阿弥陀仏についての説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[7] 2003年センター本試験改題

かつて法蔵という名の修行者であったとき、一切衆生の救済を願って四十八の誓い(本願)を立て、途方もなく長い間修行を重ねた末、すべての誓いを成就したといわれる。

あまねく世界を照らす太陽にたとえられるこの仏は、仏の悟りの境地そのものを仏として捉えたもので、宇宙に充満してあらゆる仏や菩薩を包摂するとされる。

釈迦没後 56 億 7 千万年を経てこの世に出現し、釈迦による救いにもれた人々を救うと予定されている仏で、すでに修行を完成して兜率天に待機中とされる。

永遠の生命を持ち、はるかな過去にすでに悟りを開いていたその仏は、仮に有限な人の姿をとってこの世に現れ、釈迦仏として人々のために説法したとされる。

問7 下線部(f)に関連して、法然の著作として適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[8]

『教行信証』

『往生要集』

『選択本願念仏集』

『歎異抄』

問 8 空欄 [9] に入る親鸞の言葉として、最も適当なものを次の ~ の中から一つ選べ。 [9]

厭離穢土，欣求浄土

われ日本の柱とならむ

知者のふるまいをせずして，ただ一向に念仏すべし

善人なをもて往生をとぐ，いはんや悪人をや

問 9 下線部(g)に関連して、その禅の教えをあらわす用語として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [10]

直指人心

教外別伝

見性成仏

不立文字

問 1 0 下線部(h)に関連して、栄西の著作として適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [11]

『正法眼蔵』

『臨濟録』

『風姿花伝』

『興禅護国論』

問 1 1 下線部(i)に関連して、道元の言葉として適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [12]

人々皆仏法の器なり，非器なりと思うことなかれ

仏道をなろうというは，自己をなろうなり

照千一隅，これすなわち国宝なり

仏法には，修証これ一等なり

問 1 2 下線部(j)に関連して、日蓮の思想の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [13]

法華經に帰依することによって、来世に人は仏国土に往生することができる。

この時代は末法ではないから、すべての人は法華經によって救われる。

釈迦の本質は永遠の昔に成仏した本仏であり、たえず教えを説き続けている。

仏教各宗派間の和解が、日本の立正安国をもたらす。

第2問 次の文章を読み下の問い(問1～問15)に答えよ。(配点30)

江戸幕府は、戦国時代の体験にもとづいて、社会の秩序を安定させるために、儒学を政治と道徳の指導原理として、積極的に採用した。とくに藤原惺窩は、宇宙を支配する根本原理を「理」と名づけ、この理が人間の心に宿ったものを「性」とよんだ。人の性はさまざまの人欲でおおわれているが、修養によってこれを除いていけば、本然の性があらわれ、宇宙の理と合した〔14〕の境地に達し得ると説いた。惺窩の思想は、儒教に個人の人格形成の基本を求める考え方の出発点になった。惺窩や弟子の(a)林羅山の奉じた朱子学は、江戸時代の中期になると、幕府公認の官学とされ、諸藩に藩校が設立されて儒教による武士の教育が広く普及するようになった。だが、儒学者の中にも日本文化の独自性に注目しようとする(b)山崎闇斎などもあらわれた。また朱子学者の中でも、国家を超えた宇宙の理法を強調した佐藤直方や、朝鮮との外交実務を通じて異文化への積極的理解を説いた〔15〕のような思想家もいた。

朱子学は、ものごとには定まった理が存在し、自他の秩序をきちんと守ることを教えたが、それは同時に、自他をその理のままにきびしく批判することにもなった。近江聖人とよばれた(c)中江藤樹は、みずからの独自の立場から朱子学のきびしい考え方を批判し、武士階層にとどまらずすべての人間の実践すべき教えとして儒教を説いた。

日常における具体的行為を重んじた(d)山鹿素行は著作『聖教要録』のなかで、朱子学の抽象性や主知主義を批判した。町人出身の(e)伊藤仁斎も、朱子学の考え方では、外面をきちんととりつくろうことはできても、内面の誠意や愛は欠如し、人と人との和合は破壊されてしまうと批判した。そして彼は、誠こそが道徳の根本でなければならぬと説き、それを「真実無偽」、すなわち「わたくし」のない心情の純粹さと理解した。ここには、人と人との和合を第一とし、清き明き心を尊んだ古来からの日本人の伝統的倫理観を見いだすことができる。こうした傾向は、近世の日本人の倫理思想の基本となり、幕末には「至誠」として最も高揚した。(f)吉田松陰は、聖人の教えは「一つの誠の字の外なし」と言い切っている。

きびしい身分秩序の中で低く位置づけられていた町人たちは、やがてその経済力を背景にみずからの社会的自覚を深めるようになってきた。(g)近松門左衛門や井原西鶴は上方を中心に隆盛をみた町人文芸の作者である。このころの元禄文化は、現世を「浮き世」とみてそのまま肯定しようとする現実主義の傾向を示している。

(h)石田梅岩は、みずからの商人としての体験をふまえ、神道・儒教・仏教、さらには老荘の教えもとり入れながら、独自の处世哲学である心学(石門心学)を創始している。心学とは、その名の示すように、おのれの本来の「心を知る」ことを目的としていた。

また、農民の立場に立った(i)安藤昌益は、当時の農民の苦しい生活を見て、すべての人がみな直接田を耕して(直耕)生活するという平等社会である自然世を理想とした。(j)二宮尊徳は、多くの農村復興や開拓事業にたずさわり、農業とは、おのずからの働きとしての

天道とみずからの働きとしての人道とがあいまって成り立つものと説いた。それぞれ農業という営みを新たに位置づけなおしている。

問1 空欄 [14] に入る言葉として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [14]

只管打坐 和光同塵 即身成仏 天人合一

問2 空欄 [15] に入る人名として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [15] (2000 年本試験改題)

谷時中 雨森芳洲 貝原益軒 木下順庵

問3 下線部(a)に関連して、林羅山の上下定分の理を説明したのものとして最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。 [16] (1991 年センター本試験より)

政治上の身分が上位にある者ほど、経済的にも大きな力を与えられる。

武家政権は、最高の権威を持つ天皇の委託によって政治を実行する下位の機関である。

聖人の定めた道に従って、身分制度などの社会のしくみが作られる。

天と地に高低の差別があるように、人間も生まれつき身分の上下が決まっている。

問4 下線部(b)に関連して、山崎闇斎の思想の説明として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。 [17]

神が真理の根源であり、仏とは民衆を教化するために神が仮の姿をとってあらわれたものである。

心の内面に先天的にそなわっている良知を窮め、発揮することによって善が実現される。

なにごとにも作為をろうせず、自然の道に素直にしたがって生きることが理想の生き方である。

心の内面のつつしみは、外にあらわれた自身の在りようを正しく整えることによってあらわされる。

問5 下線部(c)に関連して、中江藤樹の言葉として適当でないものを、次の ~ の中から一つ選べ。[18]

孝は太虚をもって全体として、万劫を経ても終わりなくはじめなし。孝なき時なく孝のなきものなし。……身を離れて孝なく、孝を離れて身なきゆえに、身を立て道を行うが孝の綱領なり。

仁の徳たる大なり。然れども一言以て之を蔽う。曰く、愛のみ。君臣にあつては之を義と謂い、……皆愛より出づ。蓋し愛は実心に出づ。

良知とは赤子孩提のときよりその親を愛敬する最初一念を根本として善悪の分別是非を真実に弁(わきまえ)しる徳性の知を云う。この良知は、……いかなる愚癡不肖の凡夫の心にも明にあるものなり。

孝徳の感通を手近に名づけいえば、愛敬の二字につづまれり。愛はねんごろに親しむ意なり。敬は上をうやまい、下を軽しめ侮らざる義なり。

問6 下の記述に該当する人物として適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[19]

江戸後期の大坂東町奉行所与力で陽明学者。引退後は家塾洗心洞で教学につとめた。中国の呂新吾の著作を読んで陽明学に志し、北宋の張横渠の影響をうけて政治刷新をふくむ独自の学風を築きあげた。天保の飢饉のさなか町奉行らの施策に抗議して事件を起こし、知行合一をみずから実践して命を絶ったが、これを惜しむものは多かった。

熊沢蕃山 山本常朝 西川如見 大塩平八郎

問7 下線部(d)に関連して、山鹿素行の唱えた士道についての説明として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[20]

主君の前では、親が死に子が討たれようといえども顧みずに戦う、残るところのない献身を行う存在である。

武士は農工商の三民の上に立つ道徳的な指導者であり、治国平天下を実現すべき存在である。

武士にとっては刀を抜くときが真にして実なるときである。日常茶飯のどのようなときも、死ぬ覚悟を備えていなければならない。

主君が諫言を受け入れないときにも、いよいよ主君の味方となり、主君の悪が外部にもれないようにし、主君の悪を己にひきかぶりつつ諫言をつづけるべきである。

問8 下線部(e)に関連して、伊藤仁斎の主張として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[21](1998年センター本試験より)

人の悪を心底から憎み、その人を懲らしめ罰するのも、その人の善を望んでそうす

るのだから、実は愛であり、すなわち仁の理の発露なのである。

人も活物であるから、誤りをおかさないわけにはいかない。それを理によって裁こうとすると、寛容を欠くことになり、残忍酷薄に陥りかねない。

孝は、親子関係に限定されない、宇宙の根本生命の働きそのものである。人はあらゆる他者を愛し敬うべきであり、それが孝の具体的実践なのである。

誰もがもっている生まれながらの道徳的な心は、そのまま理である。したがって、よく見てみれば、街行く人はみな聖人であることがわかる。

問 9 古文辞学を提唱した荻生徂徠の思想を説明した記述として最も適当なものを、次の～の中から一つ選べ。[22](1994年センター本試験より)

徂徠は、人と人との心情的融合に道を見だし、他者を偽ることのない「誠」の実践を重んじた。

徂徠は、道を、神が創始した習俗であると考え、古くから伝わるしきたりに従うことが、すなわち道を行うことであると主張した。

徂徠は、宇宙を貫く自然と理法として道を捉え、人間は私心や欲望を去ることで道を明らかにできると考えた。

徂徠は、道を、内面的な道徳ではなく、社会的な制度として捉え、天下を統治する方策を明らかにすることが儒者の務めであるとした。

問 10 下線部(f)に関連して、吉田松陰の思想を説明する言葉として最も適当なものを、次の～の中から一つ選べ。[23]

存心持敬 経世済民 時処位論 一君万民

問 11 下線部(g)に関連して、近松門左衛門の作品として最も適当なものを、次の～の中から一つ選べ。[24]

日本永代蔵 浮世風呂 好色一代男 曾根崎心中

問 12 下線部(h)に関連して、石田梅岩の思想の記述として適当でないものを、次の～の中から一つ選べ。[25]

儉約は正直の徳と分かちがたく結びつくもので、物と人を生かす原理である。

売利を得るのは商人の道であり、商人の売利は士の禄と同じである。

士農工商の身分の区別は、宇宙の秩序と同じように天から与えられた秩序である。

満足するというを知り、自分の持ち分に満足して生きることが大切である。

問13 下線部(i)に関連して、安藤昌益の天地自然のとらえ方として最も適当なものを、次の～の中から一つ選べ。[26](1988年共通一次本試験より)

それ自体が一大生命であり、自ら万物を生成して尽きることがないもの。

そこに人力が加わらなければ、太古の荒地に帰してしまうもの。

その背後に存する神によって操作されている奇(くす)しく妙(たえ)なるもの。

そこに貫徹するからくりの法則を明らかにすることによって、人がどのようによでも操作しうるもの。

問14 下線部(j)に関連して、二宮尊徳の言葉として適当でないものを、次の～の中から一つ選べ。[27]

安逸を戒め、欲する処の美食美服を押さへ、分限の内を省みて有余を生じ、他に譲り向來(さき)に譲るべし、これを人道といふなり。

分を定め、度を立つるは、我が道の本源なり。分定まり、度たてば、すなはち分外の財(余剰の財)生ず。……すなはち以て国を興し民を安ずべきなり。

道を盗むを「盗」と云い、財を盗むを「賊」と云う。上に立ちて不耕貪食し天道を盗む、これ盗根なり。この根より枝葉の賊下に生(は)ゆ。

我が教は、徳を以て徳に報うの道なり。天地の徳より、君の徳、親の徳、先祖の徳、その蒙るところ、人々みな広大なり。これに報うに我が徳行を以てするをいふ。

問15 富永仲基の思想を説明した記述として最も適当なものを、次の～の中から一つ選べ。[28]

思想を歴史的で国民性に左右される相対的なものとらえ、加上の法則を展開し、仏教を玄術、儒教を文辞、神道を秘伝と特徴づけてその絶対化を否定した。

自然を、条理にしたがって気が運行する、合法則的な存在であるととらえ、気のしくみを「一即一、一一即一」と規定する自然哲学を唱えた。

生命や精神活動の唯物論的な解明を目指して無鬼論(唯物論)を唱え、非合理的な宗教を批判した。

諸藩は貨幣経済社会に即応した藩専売制を採用し、富国強兵を積極的にはかるべきだと説き、その理論的裏付けとして法家思想に同調した。

第3問 次の文章 A・B を読み下の問い(問1～問6)に答えよ。(配点 16)

A 元禄時代に始まった古典の研究は、はじめは歌集や物語などの文学書の注釈に限られていたが、18世紀になると、古い時代を探究しようという気風が生まれ、(a)『古事記』や『日本書紀』などの研究を進めて、日本古来の道を説く国学に発展した。

[29]は著書『創学校啓』などで古語や古典の研究の大切さや、外来思想の排斥を説いた。門人の賀茂真淵は『万葉集』などの研究から、外来思想の影響を受ける以前の古代人の生活や思想(古道)にたちもどるべきことを主張した。

本居宣長は『古事記』を綿密に実証的に研究して『古事記伝』を著述し、人間生活のもとになるのは自然の感情「真心」であり、真心を失わなければ神の意志にかなった生活ができると説き、中国の国風や文化に心酔する「漢意」をすて、日本古来の精神に帰ることを主張した。

宣長の影響を受けた平田篤胤は、日本古来の純粋な信仰を尊ぶ復古神道をひらき、儒教や仏教を強く排斥した。そののち国学は日本中心の復古主義を強め、幕末には排他的な攘夷思想に強い影響を与えた。

問1 空欄[29]に入る人名として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[29]

伴信友 契沖 荷田春満 塙保己一

問2 下線部(a)に関連して、古代日本における祭祀に関する記述として適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[30](2003年センター本試験より)

祭祀に奉仕するものは、身心に付着した穢れを除くため禊を行った。

祭祀を妨げる行為は罪とされ、これを犯した者には袓えが課せられた。

祭祀を執り行うものは、聖職者として政治的支配階層から排除されていた。

祭祀の場では、神に対して欺き偽らない心のありようが重んじられた。

問3 それぞれの国学者の著作の中の記述として最も適当なものを、次の ~ のうちからそれぞれ一つ選べ。賀茂真淵については[31]に、本居宣長については[32]に平田篤胤については[33]に解答すること。

古学する徒は、まづ主(むね)と大倭心(やまところ)を堅むべく、……その大倭心を、太く高く固めまく欲するには、その靈(たま)の行方の安定(しづまり)を、知ることなも先なりける。

宇宙に実理は二つなし。この理のあるところは、天地もこれに異なること能はず、鬼神もこれに異なること能はず、百世の聖人もこれに異なること能はず。

古は聖人あり、今は聖人なし。故に学は必ず古なり。然れども古なければ今なく、今

なければ古なし。今なんぞ廃すべけんや。

たとへばめでたき花を見，さやかなる月に向かひて，あはれところのうごく，すなはちこれ，物のあはれを知るなり。これその月花のあはれなる趣を心にわきまへ知るゆゑに感ずるなり。

いにしへの歌は調べをもはらとせり。うたふ物なればなり。その調べのおおよそは，……つらぬくに高く直き心をもてす。

B 明治初年，日本は西洋先進諸国に追いつき，独立を維持するために，西洋文明を取り入れて文明開化をおしすすめ，富国強兵をはかった。明治 10 年代の終わり頃には，条約改正の必要から「鹿鳴館時代」といわれる極端な欧化主義の風俗が流行した。三宅雪嶺や志賀重昂らは雑誌『日本人』を創刊して，これを批判し [34] 主義を唱えたが，これから以後，日本の伝統を再評価し，尊重していこうとする日本主義の動きがあらわれた。

日本主義の主張は，道德の面においては日本の伝統に適した国民道德を求める動きとなり西村茂樹は儒教道德と西洋思想を折衷した『日本道德論』を唱えた。また，明治 23(1890)年には国民道德のあり方を示すものとして (b)「教育勅語」が發布され，忠孝を中心徳目とし，天照大神ら神々や歴代天皇によってつくられた日本独自の国体に教育の根源があるとされた。

問 4 空欄 [34] に入る語句として最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。
社会 平民 国民 国粹

問 5 徳富蘇峰が発刊した雑誌として最も適当なものを，次の ~ のうちから一つ選べ。
[35]
日本 国民之友 明六雑誌 文学界

問 6 下線部(b)に関連して，教育勅語の文面として適当でないものを，次の ~ のうちから一つ選べ。 [36]

爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信ジ
我カ皇祖皇宗国ヲ肇ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ
旧来ノ陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クヘシ
一旦緩急アレハ義勇公に奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ

第4問 次の文章を読み下の問い(問1～問12)に答えよ。(配点 28)

近代日本の思想の展開は、西洋思想がどのように受容されたかという視点から考えることができると同時に、日本の伝統的思想に対してどのような姿勢がとられたかという視点からも考えることができる。すでに幕末においても、洋学者佐久間象山の[37]という言葉のような傾向が見られたのである。

明治初期の(a)啓蒙思想家や民権思想家は、日本の伝統的な思想に欠けていたものを補おうと考えて、西洋思想を積極的に導入した。天賦人權論を唱えた(b)福沢諭吉や恢復(回復)的民権を説いた(c)中江兆民などは、その代表的思想家と見ることができる。また、(d)内村鑑三らに代表される(e)キリスト教思想家の場合は、むしろ西洋思想を伝統思想に接合させようとする傾向が見られた。内村は、自らのキリスト教信仰が、武士の精神に接ぎ木されたものであると述べている。だが、そこでは、西洋的な個人主義の人間観と伝統的な倫理観との相克といった、新たな問題が浮かび上がってくる。

明治末期にいたり、西田幾多郎は、自らの参禅体験を生かしながら、西洋哲学の概念を駆使して独自の哲学を形成した。彼は、我と物、主観と客観とが対立する以前の、物心一体・正客未分の状態を(f)純粹経験と名づけ、これこそが最も直接的で具体的な真の実在であるとした。さらに、和辻哲郎は、東西の思想・文化の理解をふまえながら、「人間の学」といわれる独自の倫理学を形成した。彼によれば、人間は、常に人と人との関係において存在する間柄的存在であり、[a]的であると同時に[b]的な存在である。そして、この[a]的・[b]的という二つの側面が互いに否定し合う運動の中に、人間存在の根本的理法が見いだされるのである。西田と和辻の場合、西洋哲学における近代的自我や主体的個人の意義をふまえながら、同時にそこに限界を見だし、これをのりこえようとする方向において、さらに自らの思想を展開させているということができよう。

問1 空欄[37]に入る言葉として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[37]

権理通義 則天去私 東洋道徳・西洋芸術 文明開化

問2 下線部(a)に関連して、日本の啓蒙思想家で、次の文が説明している人物として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[38]

島根県津和野藩医の家に生まれる。荻生徂徠の学問に関心をもったが、江戸に出たのち洋学を学びはじめ英語を学んだ。幕府派遣留学生としてオランダに留学。大政奉還に際し徳川慶喜のために「議題草案」を起草した。明六社に参加し、『明六雑誌』に次々と寄稿して啓蒙思想期の第一人者となった。哲学、理性、主観等の哲学用語を考案し、近代哲学の最初の移植者となった。

加藤弘之 森有礼 西周 津田真道

問3 下線部(b)に関連して、福沢諭吉の思想をあらわす言葉として間違っているものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[39]

学問とは.....世間における実生活に役立たない文学のことではない。...このような実生活に役立たない学問は後にまわして、人間の日常生活に役立つ実学をもつばら学ぶべきである。

独立の気力のないものは、国家を思うことも切実ではない。独立とは自分で自分の身を支配し、他人に頼る心がないことである。自分で物事のよしあしを判断して誤らずに行動するものは、他人の知恵にたよらずに独立している。

政府がほしいままに国家の憲法に背き、ほしいままに人民の権利を侵害し、建国の趣旨を妨げるときには、日本国民はこれを覆滅して(滅ぼして)、新政府を建設することができる。

天から人が生まれるのだから、万人はみな平等な位で、生まれながらに貴賤上下の差別がなく、万物の霊長としての心と体を働かせて、自然にある様々なものを使って衣食住に役立て、自由自在に、互いに他人の妨げをせず、ひとりひとりが幸福にこの世を生きてゆくというのが、天の趣旨である。

問4 下線部(c)に関連して、中江兆民の晩年の考えとして最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[40](1989年共通一次本試験より改題)

今、女性は月である。

我が日本、古より今に至るまで哲学なし。

一身独立して一国独立する。

人の世に熱あれ、人間に光あれ。

問5 下線部(d)に関連して、内村鑑三のキリスト教に関する考えを説明した記述として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[41](1997年センター本試験より)

聖書を読み、交わりを大切にすが、教会堂も牧師といった特別な人も、儀式も必要がない。

父なる神と、子たるイエス・キリストと、聖霊とは、三つの全く別のものである。

定められた安息日に、道のわきの麦の穂をつむことは、律法に反する行為である。

教会が、信者の罪を免除するために証書を与えるのは、教会の持っている機能である。

問6 下線部(e)に関連して、キリスト教信者ではない思想家はどれか、次の ~ のうちから一つ選べ。[42]

河上肇

植村正久

片山潜

安部磯雄

問7 下線部(f)に関連して、純粹経験を説明したものとして適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[43](1991 年センター追試験より)

自己の意識状態を直下に経験したとき、いまだ主もなく客もない、知識とその対象がまったく合一している。

普通には精神現象と物体現象とを内外によりて区別し、前者は内に後者は外にあると考えている。

たとえば画家の興来たり筆自ら動くように複雑なる作用の背後に統一的或るものが働いている。

われわれが美妙なる音楽に心を奪われ、物我相忘れ、天地ただ嘯嘯(りゅうりょう：楽器などの音がさえわたっている様子)たる一楽声のみなるがごとく、この刹那いわゆる真実在が現前している。

問8 空欄[a][b]に入る用語の組合せとして最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[44]

[a] 積極, [b] 消極 [a] 個人, [b] 社会
[a] 家族, [b] 市民 [a] 東洋, [b] 西洋

問9 新渡戸稲造の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[45] (2003 年センター追試験より)

キリスト教に匹敵する精神文化として、日本に武士道の伝統を見だし、それを世界に紹介した。

キリスト教の洗礼を受け、啓蒙思想の普及に努め、『西国立志篇』等の翻訳書を世に出した。

キリスト教の影響を受けながら、学生時代には人道主義に傾倒し、後に大正デモクラシーの指導的役割を担った。

キリスト教の信仰に基づき、日露戦争に際しては、絶対平和主義を主張して、徹底した非戦論を唱えた。

問10 幸徳秋水の思想で、下の説明に該当する主義として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[46]

人民の意識的行動に基づく社会革命を行い、相互扶助という進化論的自然認識を社会に適用しつつ、自由な共同体の連合を基礎に都市と農村を有機的に統一し、協同化社会を実現しようとするもの。

社会民主主義

帝国主義

空想的社会主義

無政府主義

問 1 1 下の説明 A・B・C に該当する人物名として最も適当なものを、次の ~ のうちからそれぞれ一つ選べ。

A . 民芸運動の創始者。実用品や無名の職人の作品に美をみいだし、調査のため各地を旅行した。美術を通じて朝鮮への理解を深め、日本の朝鮮政策を批判した。[47]

B . 国際的な仏教哲学者。禅と浄土思想とを結びつけた独自の思想を展開し、日本文化と禅の思想を世界に紹介することに力を尽くした。[48]

C . 在野の生物・民俗学者。菌類や蘚苔類の研究のほか、博覧強記の知識によって多数の英文の論文を発表した。明治政府の神社合祀令に対して強く批判した。[49]

鈴木大拙

柳田国男

岡倉天心

柳 宗悦

南方熊楠

西田幾多郎

問 1 2 本文の趣旨に合致するものとして最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[50](1991 年センター追試験より)

日本の伝統的思想は、近代に入り、西洋思想との正面からの対決を経た後に、完全にこれを克服することになった。

近代の日本では、西洋的な個人主義の人間観が、伝統的思想に基づく倫理観との相克を超えて、広く定着することになった。

明治以降の日本は、西洋文明を積極的に受容しながらも、思想の分野においては、一貫して伝統的なものを固守していくことになった。

近代日本の思想は、西洋思想の摂取とともに、伝統的思想の積極的な捉え直しによって、新たに独自の展開を生み出すことになった。

以 上